

附属の学校

中央大学附属中学校 新設に関する 進捗について

中央大学附属中学校は、2010年4月1日開校を目指して着実に準備を進めています。

■ 校舎の完成

2008年5月20日に着工した附属中学校校舎は、2009年5月28日に設計・施工側から引渡が行なわれました。6月上旬から、教具・校具・備品の搬入及びLAN・PC・AVの工事が進められ、7月23日に完了しました。6月23日、久野修慈理事長をはじめとして、総長・学長や常任理事の参列のもとに定礎式を行ないました。竣工式は11月28日に実施しました。

■ 認可の答申

6月24日、附属中学校設置認可2次申請書類を東京都私学部私学行政課に提出しました。9月11日の東京都私立学校審議会委員による附属中学校現地調査を経て、9月17日の東京都私立学校審議会において学校設置の認可を適当と認める旨の答申が出されました。

■ 入試・募集活動の開始

2010年2月1日および4日の入学試験に向けて、入試要項の配布を開始しています。校内での説明会を11月7日までに6回設定し、各説明会では、入試に関する詳しい情報を提供するとともに、附属中学校校舎の全施設を公開しています。



10月に行われた説明会には一六〇名の参加者があり、真新しい校舎を見学するなど、附属中学の雰囲気を感じました。写真は中庭。

2009年3月9日開催学校法人中央大学理事会で承認された「学校法人中央大学と学校法人横浜山手女子学園との合併協定書」に基づき、合併の準備を進めています。

■ 学校法人中央大学系属校の誕生

2009年4月9日学校法人横浜山手女子学園新理事会が発足しました。新理事長に田口東 理工学部教授(前理工学部長)が就任し、理事会理事8名のうち、本学教職員5名が理事に、評議員会は、評議員17名のうち、本学教職員10名が就任しました。これにより、学校法人横浜山手女子学園は学校法人中央大学の系属法人になりました。

■ 校名を変更

横浜山手女子中学校・高等学校(1908年[明治41年]:創立者渡邊たま女史)は、2010年4月「中央大学横浜山手中学校・高等学校」に校名を変更します。

■ 合併に向けての取り組み

法人合併に向けて、教職員の意識改革、教育力・学力の向上、新規教員の採用、広報・生徒募集活動の積極的展開、教育環境の整備、コストの見直し等、教育・財政基盤等整備のために、日々取り組んでいます。本年9月1日には田中好一新校長(前中央大学高等学校校長)が就任しました。



横浜山手女子中学校・高等学校Webサイト：
www.yamatejoshi.ac.jp

中央大学横浜山手 中学校・高等学校 2010年4月 校名変更



後方が横浜山手女子学園校舎